

# おかやまプレーパーク News

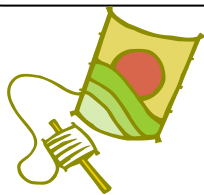
## 1月号



開催日：水～日曜 10時～16時

場所：国際児童年記念公園こどもの森（岡山市北区学南町3-6-1）

2012.12.20 発行



新年のスタートは、2013年1月9日(水)！  
今年も元気にあそぼう！

■みんなで冬の外遊びを楽しもう【第一弾】■

### あったかハウスをつくろう！

廃材などを使ってつくります

1月11日(金)～19日(土)

0.1.2.3さい  
あつまれ～

1月10日(木) 11時頃～

いっしょにおそとであそぼ！

- ・絵本の読み聞かせ
- ・お正月あそび（たこあげ・はねつき等）
- ・スープ（1杯100円）



### おもちつき

いいうすときねでおもちをつきます！  
(ひとり100円)

1月20日(日) 11時頃～

☆☆☆……大切にしたい子どもの遊び ……プレーリーダー 松田秀太郎…☆☆☆

#### 手でふれる、さわって、もってみる

2歳位の女の子が足元の木の板をじっと見ていました。木の板は、男の子たちが落とし穴づくりに使った材料の一部で、割れてしまった為、もういらないと地面に投げられていました。板は割れた為に、半分曲がっていて、見ようによっては、片づけて処分されそうな状態でした。

さて、その女の子は、木の板をじっと見たあと、どうしたでしょうか？

しゃがみこんで、さわってみて、自分の目の高さまでもちあげて、しばらく観察していました。「これは、なんだろう？」という声が聞こえてきそうでした。その後、木の板を手からはなしお母さんのところへ行きました。

人は、子どもから大人まで楽しそう、おもしろそうを受信するアンテナを持っています。小さな子どものアンテナは受信感度に優れています。遊び場落とし穴づくりで盛り上がった小学生の男の子たちの雰囲気引き寄せられたのかもしれませんが。刺激があるんだと思います。何気ない木の板も、魅力的なものに変化する。

手づくりの遊び場『おかやまプレーパーク』をおもしろくする最大の要素は、子どもたちなんだと教えてくれました。

毎日、子どもは、ふれる、さわる、もってみるを繰り返しています。これを『体験』や『遊ぶ』と言います。体験することや遊ぶことは、何気ない日常の暮らしの中につまっています。

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート基金」の助成を受け外遊びを通じた子育て支援事業を行っています。

★交流サロン 毎月第2木曜日 11～15時 / ★子育てサポート・支援 毎週金曜日 10～16時

毎日、子育てサポートスタッフがいます。声をかけてくださいね。



サポート基金

発行：特定非営利活動法人岡山市子どもセンター 〒701-0144 岡山市北区久米 348

Tel 086-242-1810（月～金、10～17時）

Fax 086-242-1830

E-mail=kodomo-npo@mx91.tiki.ne.jp

URL=http://www.kodomo-npo.jp/

FB = http://www.facebook.com/Okayama.playpark

←フェイスブックも見てね！